



# 新刊案内



『青の刀匠』 天沢 夏月／著	ポプラ社	T/A+
『中高生の悩みが軽くなるヒント集めました。』 葉一／著	河出書房新社	T/159/ハイ
『オタクを武器に生きていく』 吉田 尚記／著	河出書房新社	T/159/ヨビ
『宇宙飛行士』 夢の仕事場 鈴木 喜生／著	朝日新聞出版	T/538/スヨ
『創竜伝：14』 月への門 田中 芳樹／著	講談社	TB/タヨ
『こえてくる者たち』 斉藤 洋／作	講談社	K/サヒ
『エツコさん』 昼田 弥子／作	アリス館	K/ヒミ
『人類の物語』 コヴァル /ア ハラリ／著	河出書房新社	K/209/ハユ
『光るマウスが未来をかえる』 森川 成美／作	講談社	K/467/モシ
『めんはすごい！』 柴田書店／編	柴田書店	K/596/メン
『作って発見！日本の美術』 金子 信久／著	東京美術	K/702/カ/
『たんぽぽぽぽ』 内田 麟太郎／詩	銀の鈴社	K/911/ウリ



**ティーンズのココロ通信** 山口市立中央図書館 230号

令和 5年 2月 1日 発行 〒753-0075 山口市中国町7-72  
TEL: 083-901-1040 FAX: 083-901-1144

Eメール: info@lib-yama.jp



暦のうえでは春ですが、一年で最も寒い季節です。健康には注意しましょう。

今月のテーマは【プレゼント】です。

●『校本 智恵子抄』

高村 光太郎/著 中村 稔/編 角川書店 B911.5 /タコ  
光太郎が妻智恵子に最後にプレゼントしたのはレモン。この本に収録されている詩「レモン哀歌」は、智恵子が息を引き取る瞬間を歌ったもの。息を引き取る直前、病床で光太郎が手渡したレモンを「がりり」とかむことで、精神を患っていたはずの彼女の意識は一瞬正常に戻り、光太郎は智恵子の愛を確認する。人を愛する心は昔も今も変わらない。バレンタインインデーのこの時期、あなたも光太郎と智恵子の愛に触れてみませんか。(H.S)

●『もらってうれしい!食べて美味しい!友チョコ』

かんたんなチョコからじっくり作るチョコまで大集合!』  
ブティック社 T596/モラ  
2月と言えばバレンタイン。お友だちに友チョコをプレゼントする人も多いのではないのでしょうか?  
この本では、クッキー、トリュフ、ブラウニー、シフォンケーキ…。プレゼントにぴったりなものから、友だちをおうちに呼んでいっしょに食べたいものまで、チョコレートを使ったお菓子の作り方を紹介します。ぜひレシピを見て、素敵な友チョコを作ってみてくださいね。(A.H)

●『スネイル・メール 手書きの手紙と手作り封筒で送る「かたつむり郵便」のススメ』

ミッシェル・マッキントッシュ/著 尾原 美保/訳  
グラフィック社 T639/マミ  
手書きの文化や日本の可愛い文房具に魅了されたオーストラリア人の著者が綴った、「スネイル・メール(かたつむり郵便)」の楽しみ方を詰め込まれた1冊。  
手書きの文字や手作り封筒などで丁寧に手紙やカードのやりとりを楽しむ方法を紹介。シーン別の作法、デコレーション、文房具などの作り方が写真とあわせて掲載されています。忙しい今の時代、手書きの手紙をプレゼントに添えみてはいかがでしょうか。(S.O)

●『おおきな木』

シェル・シルヴァスタイン/さく え ほんだ きんいちろう/やく  
篠崎書林 T726/シシ  
昔りんごの木があり、一人のちびっこが毎日そこに来て遊んだ。木もちびっこもお互いが大好きだった。でもちびっこは成長するにつれてお金や家や船を欲しがった。木は彼を満足させる為に自らの実を与え、枝を与え、幹を与え、とうとう切り株になった。そして時がたち老人になったちびっこがやって来てその切り株に座った時、木は幸せを感じるのだった。木のちびっこへの愛は男女のそれなのか親子のそれなのか。2010年発行の村上春樹訳と読み比べても面白い。(H.S)

●『幸せな王子 オスカー・ワイルド ショートセレクション』

オスカー ワイルド/作 金原 瑞人/訳 ヨシタケ シンスケ/絵  
理論社 TF/ワオ  
町の広場の中央に立つ少年の銅像「幸福の王子」は、ツバメに頼みました。自分の剣のルビーや、目のサファイアを引き抜いて、町の貧しく不幸な民たちに届けてほしいと…。王子とツバメが紡ぐ愛と自己犠牲を哀しくも美しく描いた、オスカー・ワイルドの不朽の名作。絵本にも漫画にもアニメにもなっています。表題作をはじめ、ユニークな物語性のふくよかさが伝わる5編を収録。(A.H)

●『White smile アザラシ赤ちゃんのひとりごと』

小原 玲/写真 堀田 あけみ/文 ワニブックス T489/オレ  
カメラマンの小原さんはアザラシの赤ちゃんとの出会いをきっかけに、報道カメラマンから動物カメラマンへ転身!12年にわたり氷上でアザラシの赤ちゃんの成長を見守り続けてきた彼女が捉えた愛らしい瞬間の数々に、心癒される文章が添えられた一冊。  
大好きな人と過ごすとき。ホッとひと息つきたいとき。イヤなことがあったときも…本を開けば、ほら、にっこり。頑張るあなたに、氷の世界からのプレゼント。(S.O)